

観光客を綺麗な道でお出迎え

自治振興協議会が主催し除草ボランティア^{8/} 12



▲除草作業を行うボランティアの皆さん

8月12日（火）自治振興協議会（石田隆広会長）が主催した、道路環境美化ボランティア活動が行われました。

夜高あんどん祭りに訪れる多くの観光客を気持ちよく迎え入れたいと実施されたもので、今年で2回目の開催になりました。青木副会長が挨拶で「お盆前の忙しい時期にありがとうございます。夜高あんどん祭りで多くの方が来町します。気持ちよく過ごしてもらえようご協力をお願いします。」と話し、集まった町民等のボランティア約80名が清掃活動を行いました。

作業は、平スコップで道路縁石などから生えている雑草を削りながら袋に入れ、軽トラ1台分の雑草を除去し気持ちよく作業を終えました。

駐車場を気持ちよく利用して

渡部建設（株）が旧中学校グラウンドを除草^{8/} 18



▲丁寧に除草作業を行う渡部建設

8月18日（月）夜高あんどん祭りの駐車場に利用する旧沼田中学校グラウンドの草刈り作業を沼田町の特定建設業の渡部建設（株）（渡部稔代表取締役）が行いました。

夜高あんどん祭り時に多くの車が駐車するスペースを機械を使って綺麗に除草を行い、お祭りの両日は多くの観光客の方が気持ちよく利用されていました。

コスモスが綺麗に咲きました

沼田町ホタルの会が第2幹線用水路周辺を整備



▲綺麗に整備された用水路

土地改良区「水土里ネットぬまた」のOBでつくる「沼田町ホタルの会」（野道夫会長）のメンバーが沼田第2幹線用水路に花の定植や、雑草の除草ボランティアを行い、綺麗に整備された水路を幼稚園の園児たちが通りかかり、コスモスやひまわりをみて「大きくて綺麗だね」と見入っていました。

野さんは「子どもたちにも気持ちよく通ってもらいたいと思いますし、雑草が生えているより綺麗な花が咲いている方がいいですよね。」と子どもたちと笑顔で話をしていました。



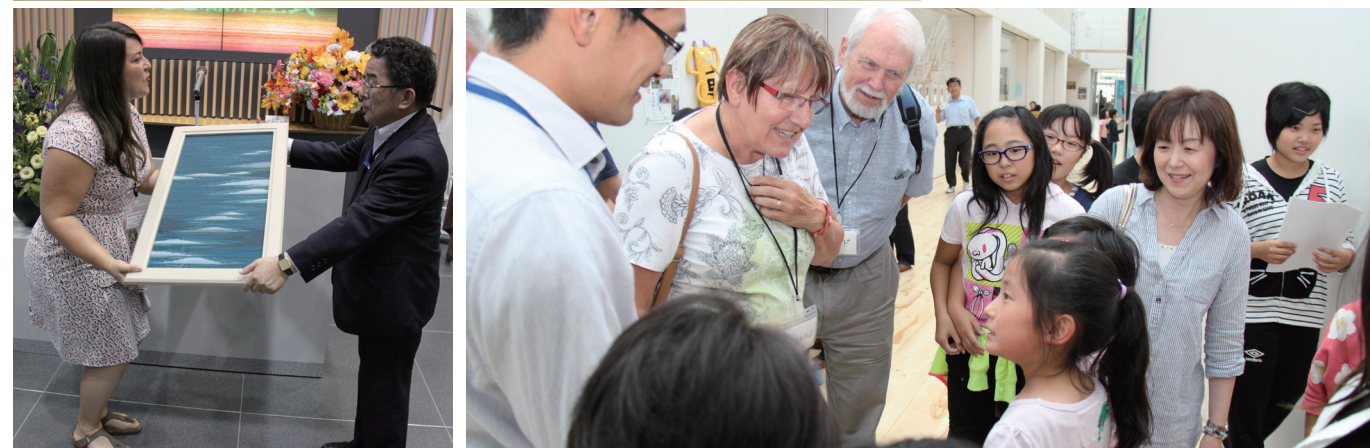
▲綺麗だねと花を見る園児たち

姉妹都市提携20年

ポートハーディ訪問団が沼田町を訪れる^{8/}20～27

姉妹都市であるカナダポートハーディ地区から8名が8月20日から27日の8日間沼田町を訪れました。本年は姉妹都市提携を結んで20年を迎える節目の年で、訪問団は滞在中、夜高あんどん祭りの見学や体験、幼稚園・小学校・中学校・老人ホームなどを見学し町民との交流を深めました。26日には姉妹都市提携20周年を記念して、相互に記念品の贈呈が行われました。その後送別パーティが行われ、本年10月11日からポートハーディを訪問予定の中学生7名も英語で元気よくスピーチし、訪問団はホストファミリーと楽しい時間を過ごしました。

帰国の日、今回の訪問団代表のレスリードリメルさんは「沼田を訪れるのは4回目。いつも沼田の人々の心のあたたかさに感銘を受ける。20年を機にさらに交流を深め、ポートハーディの多くの人へ沼田の良さを伝えたい」と話されていました。



半鐘を鳴らして防災訓練

東予地区で防災意識の啓蒙活動^{8/}18



▲半鐘を鳴らす宮崎さん

8月18日（月）東予地区において、コミュニティーセンター横へ新たに設置した半鐘を鳴らし、地区の方に対する防災意識への啓蒙活動が行われました。

当日はコミュニティーセンターに20名以上の方が集まり、同センターに設置してある発電機を実際に稼働させ、災害時を想定した電源の確保や防災グッズの確認も行われました。

農村部の避難所に指定されているコミュニティーセンターや地区会館には発電機やストーブ、投光器などの備品が設置されています。

いざという時のために発電機や非常用電源の使用方法について使い方を覚えておきましょう。（下記参照）

～停電のとき避難所では？～（農村部避難所の非常用電源の使い方）

※避難所に設置されている「非常用電源盤」内のコードリールを発電機に繋ぐことで、停電時においても照明又は室内のコンセントが使用できる状態になります。

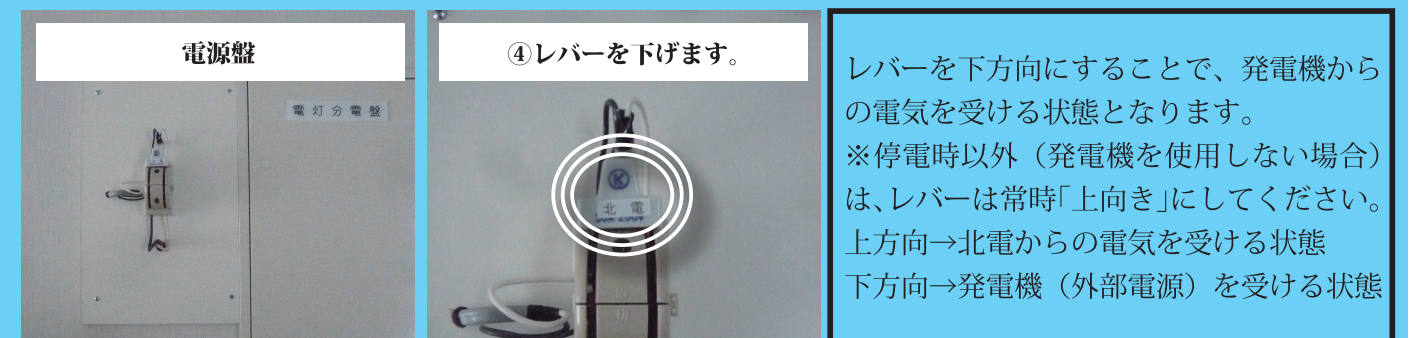
1. 非常用電源盤からコードリールを取り出し、発電機に接続します。

非常用電源盤を開けると、「室内照明用」と「室内コンセント用」の2本のコードリールが入っています。状況に応じ、どちらか一方を取り出し発電機に接続します。



2. 施設内の電源盤を切り替える。

下記の写真のように、施設内には「電源盤」が新たに設置されています。レバーは通常「上方向」に向いていますので、そのレバーを「下方向」に引いてください。



レバーを下方向にすることで、発電機からの電気を受ける状態となります。
※停電時以外（発電機を使用しない場合）は、レバーは常時「上向き」にしてください。
上方向→北電からの電気を受ける状態
下方向→発電機（外部電源）を受ける状態

上記の作業で室内の集会場の電気または、非常用コンセントが使用できる状態になります。なお、使用方法（説明書）は、各施設に置いてありますので、時折試運転をしてみましょう。

いざという時のために

東1町内会で救命講習会



▲実際にAEDを使用しながら講習を受けました

8/30

8月30日（土）に東1町内会で防災の一環として、災害時に負傷者が発生した時の応急手当を身に付けるために救命講習会を行いました。

救命講習会では、救急車が到着するまでの応急手当（心肺蘇生法、AEDの使用、止血方法、異物除去法）を消防職員の指導により学び、災害時の備えとなるように、参加者は熱心に応急手当の講習に取り組んでいました。

自宅からも検索できます

図書館のシステムが新しくなりました



▲自宅から図書の検索ができるようになりました

9/1

9月1日（月）から図書館が、新しいシステムに切り替わりました。

利用者の皆さんにとって今までと大きく違う点は、インターネットによって図書館の蔵書を検索できる点です。今までは電話でお問い合わせいただくか、直接館内の利用者用PCで検索していただく必要がありましたが、ご自宅にいら読みたい本が図書館にあるかどうかや貸し出しの状況を確認いただくことが可能となりました。

沼田町図書検索は町のホームページからか、<http://blog.canpan.info/numakyoui/> から検索できます。

自分らしく幸せに

第2回「つながる塾」



▲模型を使いながら意見交換を行う参加者

9/3

さいごまで自分らしく健康で幸せに暮らすために、沼田町にどんな場所やサービスがあったらいいのでしょうか？また、それらを実現するためにわたしたちはどんなことができるのでしょうか？

これからの沼田町を話し合う場として第2回目となる『つながる塾』が9月3日（水）開催されました。

今回の『つながる塾』は前回の振り返りの後、沼田厚生クリニック鳥本副院長から沼田厚生クリニックの現状についての勉強会、アイスブレイク（※1）の後、整備が必要な施設について優先順位・大きさなどについて模型を使ってグループ毎にワーキングを行いました。

参加者は「模型を使い具体的に計画地のイメージが深まった。」と実感していました。

（※）アイスブレイクとは、参加者の緊張や不安を「アイス（氷）」に例え、その硬い氷を「ブレイク（壊す、溶かす）」という意味がある、緊張ほぐしに効果的なゲーム等のことです。

高円宮妃久子殿下 北海道の雪におどろきと感銘

D I Yホームセンターショーに参加

8/28～30

8月28日（木）～30日（土）千葉県幕張メッセにおいて開催された「D I Yホームセンターショー2014」に、沼田町から直送された15トンの雪を使って「雪遊びコーナー」が設けられ子どもたちの人気を集めました。

ホームセンターが扱う商品などを集めた展示会で、今年の来場者は3日間で計10万人を超えました。町は主催する協会の依頼を受けて一昨年から同コーナーを開設しています。

雪遊びコーナーでは、子どもたちが雪だるまを作ったり、雪に触って歓声を上げ、行列ができるほどの人気を集めました。参加者からは沼田町の場所や運搬方法などスタッフに興味津々に質問をしていました。

また、展示会の開会式には高円宮妃久子殿下も出席され、会場に向いた金平町長は雪の保存にパーク材を利用する方法や、真夏に天然雪を使ったイベント、公共施設での雪冷房等について、クリーンエネルギーの可能性や今後の展望を交えて説明しました。高円宮妃久子殿下も雪の新たな可能性や真夏の天然雪に大変感銘されていました。



▲高円宮妃久子殿下に説明する金平町長

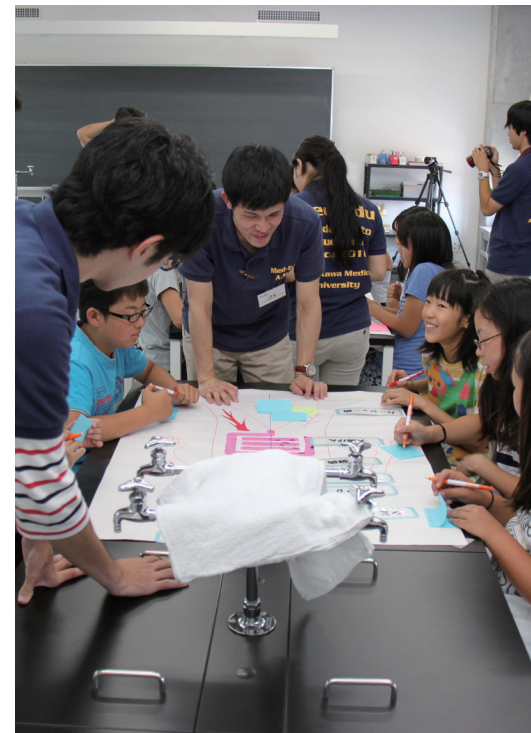


▲子どもたちに大人気だった雪遊びコーナー

地域社会貢献の一環として

旭川医科大学の学生が小学校で健康教育

8/28



▲大学生と一緒にタバコの害について学びました

8月28日（木）小中高生を対象に健康教室を主催し、地域社会に貢献する理念を持った旭川医科大学の学生団体「Med-Edu（メド・エデュ）」のメンバーが沼田小学校（藤森正男校長）で「タバコの害」について授業を行いました。

電子黒板や肺の模型など使いながら、子どもたちにもわかりやすいように授業を行い、タバコを1年間吸い続けると身体に及ぼす影響だけでなく、何故やめられないのかを子どもたちに身近なものを例えに使いながら行われました。最後には「将来自分たちがタバコを吸うことになったときは今日の授業のことを思い出して欲しい」と子ども達に伝えていました。



▲真剣な表情で聞き入る児童たち

ヒーローショーも開催

第21回消防ちびっこ広場^{9/6}

9月6日(土)、深川地区消防組合沼田支署で「第21回消防ちびっこ広場」が開催されました。

消防ちびっこ広場では、毎年多くの体験コーナーや催しを用意しており、的に向かって放水を体験する「放水コーナー」や、本物の消防車に乗れる「乗車コーナー」、他にもかき氷フランクフルト、スーパーボールすくいなどがある無料緑日コーナーなど、集まった子供たちは我先にと体験コーナーを訪れていました。

また、今年は消防職員によるヒーローショーが行われ、火の怖さについて笑いも交えながら分かりやすく説明されました。集まった子供たちは笑顔でショーを見ながら大きな声援を上げていました。

最後には、大抽選会が行われ、終始賑わいをみせたイベントとなりました。



▲大人気だった放水体験



▲沼田の人気者？レスキューショー

笑顔があふれていました

第41回敬老会^{9/7}

9月7日(日)沼田町と沼田町社会福祉協議会の共催による第41回沼田町敬老会が町民会館で行われました。

約250人の参加者へ、金平町長から「健康長寿スタートの年、皆さんがいつまでも元気だと我々も元気を分けてもらえる、子供たちのためにも良きふるさと沼田町をつくっていききたい。」と挨拶、杉本議長から「これからも先輩達から色々なことを学んでいきたい。」と祝辞の後、土地改良区堀田理事長の発声により祝宴が始まりました。

その後のアトラクションでは、沼田保育園児の「太鼓演奏」や「剣詩舞ショー」、ぬまたエンジョイスポートクラブ、役場健康運動指導士による「脳も体も元気体操」など、盛りだくさんの内容に参加者同士が楽しみながら、交流を図っていました。



▲保育園児による太鼓演奏



▲笑顔があふれた元気体操

いつまでもお元気で

旭寿園でふれあい祭り^{9/6}



▲お祝いを受けた皆さん

9月6日(土)、町特別養護老人ホーム旭寿園で「ふれあい祭り」が開催され、入所者の家族など多くの方が駆けつけました。

入所者や家族の皆さんは、うどんや焼き鳥などの出店や、職員による余興などを楽しまれ、和やかな雰囲気の中での催しとなりました。

また、開会式では入所者の白寿と米寿のお祝いが行われ、金平町長からお祝いを手渡された入所者は「ありがとう」とお礼の言葉を述べていました。

晴天の中盛大に開催されました

第41回空知地区P G協会連合会交流会^{9/6}



▲楽しく交流を行いながら開催されました

9月6日(土)町民パークゴルフ場で第41回空知地区P G協会連合会交流会が開催されました。

大会は空知管内のP G協会を対象に同連合会が毎年春と秋の2回開催しているもので、沼田町での開催は平成22年の秋大会に続き2回目の開催となりました。今大会の運営は沼田町P G協会が行っています。

開会式では香川連合会長(雨竜町)が「シーズンも終盤。熱く楽しく交流しましょう。」と挨拶。また、来賓として金平町長が「コースコンディションには万全を期しています。パークゴルフ愛好家は減少傾向ですが、愛好家の底上げに協力いただき、健康や体力づくりにつなげて欲しい」と歓迎の挨拶をしました。

大会には管内26協会から220名が参加し、4コース36ホールで熱戦を繰り広げました。

佐々木さんご夫婦が毎年丁寧に

南町の花壇を綺麗に草取り



▲花の手入れを行う佐々木さん

南町団地に隣接する町道に設置されている大きな花壇に定植されている花が綺麗に咲き、道行く人の目を楽しませています。

花壇に定植されている花の手入れを10年以上行っている、南町の佐々木守さんご夫婦は花壇の草取りや、水やりや肥料などを入れて管理されています。花壇だけでなく、歩道の草刈りなども積極的に行っているといい、「今年はいつもより特に綺麗に咲いています。手入れは大変だけど花が綺麗に咲くと気持ちもいいですね」と佐々木さんは笑顔で話してくれました。